

無料講座「教室の教え方3つのポイント」第3回

イチジャン・ドットコム の須藤です。

無料講座「教室の教え方3つのポイント」第3回をお届けします。
今回は、第3のポイント「時間配分はどうすればいいの」です。

マージャン教室教え方のコツを、お教えします。

イチジャン・ドットコム こうやって教えればよかったのか！
「教室の教え方3つのポイント」
第3のポイント：「時間配分はどうすればいいの」

無料講座も今回で最終回です。
今回は教室の運営に関することをお話します。

教室には色々なレベルの方が来ることになります。
全く初めての方も、並べるくらいはしたことがある方も、点数以外
はできるという方も、点数まで覚えたという方も来るでしょう。
全員を同じ卓で打たせるわけにもいきませんので、レベル別に分けて
教えることになります。

基本的にどのクラスであっても、1回の講義時間は長くても20分、
できれば15分以内にする必要があります。
それ以上は、長すぎて聞いていて飽きてしまいますし、練習の時間
も少なくなってしまうからです。

さて、それをふまえて、それぞれのクラスを教えていくわけですが、
講義以外の時間に、先生が見なくてはいけない時間が、各クラスに
よって違います。

では1日の教室の中で、各クラスの時間配分はどのようにしたら
良いでしょうか。

ここでは、
「初級は、全く初めての方から点数の講義が終わるまでの方」
「中級は、点数の講義が終わっている方」
とします。

それぞれを見て行きましょう。

初級クラスの場合

まず初級クラスの場合は、ある程度長い時間先生が付いていないと、自分でゲームをすることができません。
そこで、授業中は、この初級に長い時間を使うことになります。

初級で大切なのは、わかりやすく丁寧に教えてあげること。
この方々をうまく育ててあげること、中級の生徒さんの数も増えていきます。

この方法は第1のポイント、第2のポイントでお話ししたとおりです。忘れてしまった方は、もう一度復習してくださいね。

将来、きちんと理解できている中級者になれるように、しっかりと教えてあげましょう。

中級クラスの場合

マージャンを覚えた後に、楽しむ場所・よりレベルアップを図る場所として中級があります。

「覚えた後は、各自でマージャンをする場所を見つけてください」と言っても、4人の仲間を見つけることは大変です。

せっかくマージャンを覚えても、楽しむことができなくなってしまうかも知れないのです。

そこで、マージャンを覚えた後の受け皿として、中級は存在します。

授業中は、初級についていることが多くなってしまいますよね。しかし、中級を全くほったらかしにしておくわけにも行きません。

そこで、打っている最中に各卓を回り、1人1人全ての生徒さんに「必ず1日1回は何かアドバイスをする」ように心がけましょう。

さて、それだけではなく、中級が流行っている教室には、必ず共通していることがあります。

それは「ワンポイントレッスンが毎回ある」ことなのです。

ワンポイントレッスンでは、初級のうちは教えることができなかつたようなことを、1日1テーマ、全体に対して講義するのです。

生徒さんは先生が考えている以上に、レッスンを受けるということを楽しみにしています。

せっかく教室に来ているのですから、ただ遊ぶだけではなくて、何か学びたいというわけですね。

ですから、ワンポイントレッスンは、これを読んだ日からでも、ぜひ実行してください。

さらに、みなさんこの講座を読んでいるということは、パソコンをお持ちですよ？

それでしたら、そのワンポイントをプリントにして配ってあげるとより効果的です。

ワンポイントレッスンを聞いただけでは、それで終わりですが、プリントになっていけば、後で復習もできますし、「今日はこういうことを勉強した」と満足してもらうことができるのです。

(実際に覚えているかどうかは別にして)

このプリントを作る作業は確かに大変です。

しかし、授業中は初級に時間を取られてしまいますから、授業以外の時間で中級の生徒さんのための時間が必要なのです。

どんな簡単なものでもいいのです。

やらないよりは、やった方が全然いいですから。

実際、私も1日1つのテーマについてお話ししています。

ただ、最初に凝ったものを作ってしまったので、毎回プリントを作るのに2～3時間かかってしまっていたが・・・。

しかし、確実に喜んでもらえていますので、やって良かったなと思っています。

これを始めてから、明らかに生徒さんの人数が増えていきましたしね。

さて、しばらくやっていると、段々と話すことがなくなってきてしまいます。

そして、内容が高度になりすぎてしまうこともしばしば。(私もやってしまいました)

講義のプリントとしてお話しすることは、長く続けていると、みなさん最初の頃のお話しは忘れてきてしまいます。

また、新しい生徒さんも増えてきて、以前したお話しを聞いていない、ということも出てきてしまいます。

そこで、しばらく講義を続けたら(私の場合は、週1回のペースで2年でした)、最初のお話しに戻っても良いと思います。

これは、実際に生徒さんにアンケートを取った結果です。

「2年間お話ししてきましたが、さらに新しい講義を作りましょうか。それとも、もう1回最初から講義を復習しましょうか」と、アンケートを取ったのです。

すると、今まで聞きそびれていた新しい生徒さんはもちろん喜びましたし、また、以前に同じ講義を聞いたことがある生徒さんも「何回でも繰り返し聞くほうが身について勉強になる」との答えが返ってきたのです。

(何と64人中、反対意見は0人でした。講義が高度になりすぎていたのかも知れませんね)

そうやって、もう1回最初から講義をしたのですが、実はあることに気が付いたのです。

同じ話をするのでも、最初のころより先生のレベルも上がっていますので、講義がもっと深く分かりやすいものになっているのです。

また、プリントの表現や内容も変えたくなくなっているでしょう。

最初のころのテキストを作る苦勞が減って、しかも内容を深くできるのですから、もう一度お話を復習することは色々な意味で良いと言えるでしょう。

いかがでしたか？

初級は授業中の時間を長く使う。
ここでわかりやすく教えてあげて、しっかりと理解できている中級
に育てていってあげる。

中級は授業外の時間を長く使う。
人気がある教室には、必ずワンポイントレッスンがある。
それをプリントにしてあげるともっと良い。

これが、第3のポイント「時間配分はどうすればいいの」でした。
今後、教室を運営するときに利用してみてくださいね。

麻雀教室レッスンマニュアル「3ヶ月で教える初級麻雀教室」
<http://www.1jann.com/teach/manual.html>

イチジャン・ドットコム こうやって教えればよかったのか！
「教室の教え方3つのポイント」
第3のポイント：「時間配分はどうすればいいの」

有限会社イチジャン・ドットコム
須藤 浩
<http://www.1jann.com/>

お疲れさまでした。
以上で無料講座は終了です。

少しでもお役に立てば幸いです。

これらのことに気をつけながら、教室を行うと良いと思います。

そのために必要なことが、このパッケージには全て含まれているのです。

続きはマニュアルでご覧下さい。

<http://www.1jann.com/teach/manual.html>

お待ちしております。

(有) イチジャン・ドットコム
須藤 浩